

障害者雇用の現況と市の対応は

津山新星会議 竹内邦彦



質問↓障害者雇用の現況と市の対応は。県事業である大谷〜一宮線が平成二十三年度には供用開始予定であるが、この路線に接続する以西地域からの道路の大規模改良はどのように考えている

のか。外郭団体の今後に関し、経営検討委員会対策を講じていくわけだが、委員会での内容を議会に報告、説明してもらえるのか。

答弁↓一般企業への就職件数は、七十六件であり、内訳は身体三十四件、知的二十五件、精神十七件であり、津山職安、津山障害者就業・生活支援センター等と連携し、一般就労へ移行できるように努力していく。交通量、危険度等を検証し費用対効果を考えて実施に向け検討したい。経営検討委員会の検証論議については、議会説明、市民周知に努めていきたい。

行政暴力に屈したのでは

市民と歩む会 河本英敏



質問↓食肉の納入への入札は評価。事務処理について業者から指摘があったと聞くが事実か、大量の納入食材の安全性の担保は。教育長↓申し入れは事実。整備公社に委

託し、牛肉はサンプル調査、野菜も使った農薬等がわかる体制もとった。問題があればベナルティも科す。

質問↓入札書類の不備を棚上げ、三業者月割り納入へ。強力な働きかけ(行政暴力)があったと聞く。第三者とは誰で要求は何か。事の顛末を誰の指示で誰が実行したのか、厳しく事実関係を調査し、職員の処分も含め報告を。

教育長↓試行で一ヶ月ずつ納品すると業者選定委員会が決まったと聞く。また、指摘には、公社が業者に説明した。強力な働きかけは聞いてない。あつてはならない。今後も、毅然と対処する。

市民サービスの向上に向けて

津山誠心会議 田口慎一郎



質問↓具体化を見送った総合窓口の対応は。答弁↓第三庁舎・子ども保健部の増加による新たな課題に伴い、市民の利便性

とサービスの向上に向けて研究を継続していく。

質問↓休日対応は市民のニーズ。金曜日窓口時間延長の現状と今後の対応は。答弁↓若手職員政策提案グループによるアンケート調査で市民からの要望が二十一・五%もあった。結果を基に他都市の状況も分析し、今後更に検討していく。延長後、全ての窓口が開いていないのが現状。行財政改革推進委員会専門部会から、行政サービスの対応時間の見直し提案されている。時間延長や職員の配置、セキュリティの課題なども多く、現在も検討中である。

「津山市バイオマスタウン構想」の推進

公明党津山市議団 川端恵美子



質問↓この度「バイオマスタウン構想」が農林水産省の認定を受けた。廃棄物系バイオマス九十%以上、未利用バイオマス四十%以上の活用を目標としているが今後の推進計画はどうか。

答弁↓畜産等の事業者と協同で問題解決を考える体制を年明けにも立ち上げた。今後の事業計画は①あば温泉で稼働中のチップボイラーを他施設への利用拡大②公共施設への木質ペレットストーブの導入③バイオプラスチック関連企業の誘致を考えている。

質問↓廃棄物・未利用バイオマス活用でCO2の削減効果はどうか。答弁↓約五万三千七百トンのCO2削減が考えられる。

質問↓ガソリン換算では、二百リットルドラム缶で十一万六千七百本分の削減が考えられる。